

## 八潮市沿革図(近世以降)

### 近世

武蔵国  
埼玉郡(初期は騎西郡)

### 八條領

20か村

※慶安2年(1649)～3年作成「武藏田園簿」記載の市域は20か村※注1)

[※同史料などにみる村名表記・石高変遷表はこちら\(PDF\)](#)

主に幕領または旗本領(後期)

はちじょうむら

### 八條村

つるがそねむら

鶴ヶ曾根村 \*注2)

こさくだむら

### 小作田村

いぐさまむら

### 伊草村

まつのきむら

### 松之木村

たてのほりむら

立野堀村 (現草加市)

にちょうめむら

### 二町且村

きぞねむら

### 木曽根村

かわさきむら

### 川崎村

みなみかわさきむら

### 近代

慶応4年(明治元、1868)7月10日、武蔵知県事管轄  
明治2年(1869)正月13日、小菅県(小菅県時代の戸籍区は第8区)  
[明治4年\(1871\)11月14日、埼玉県](#)  
明治5年(1872)3月、埼玉県第1区  
明治12年(1879)3月17日、南埼玉郡(区制廃止)

### 現代

市制施行に至るまで南埼玉郡

### 伊勢野村連合

明治17年(1884)7月14日布達

を経て

### 潮止村

しょどめむら

明治22年(1889)4月1日合併

### 八潮村

やしおむら

昭和31年(1956)9月28日合併

### 八潮町

やしおまち

昭和39年(1964)10月1日町制施行

←草加市稻荷町(旧立野堀)・青柳町・柿木町の各一部を編入

昭和42年(1967)6月1日

→大字八條・小作田・松之木・伊草の各一部を分離(草加市へ)

### 八潮市

やしおし

昭和47年(1972)1月15日市制施行

←草加市稻荷町の一部を編入

昭和54年(1979)4月1日

→大字伊草・松之木・小作田・柳之宮の各一部を分離(草加市へ)

現在に至る

浮塚村

うきづかむら

### 柳之宮村

やなぎのみやむら

西袋新田

にしぶくろしんでん

\*注7)

後谷村

うしろやむら

西袋村

にしぶくろむら

西袋村新田平次右衛門組

宝暦2年(1752)検地

※無民家

明治7年(1874)12月28日合併許可

南後谷村

みなみうしろやむら

明治12年(1879)3月28日改称(郡内同一村名区分)

西袋村新田平次右衛門組

宝暦2年(1752)検地

※無民家

明治7年(1874)12月28日合併許可

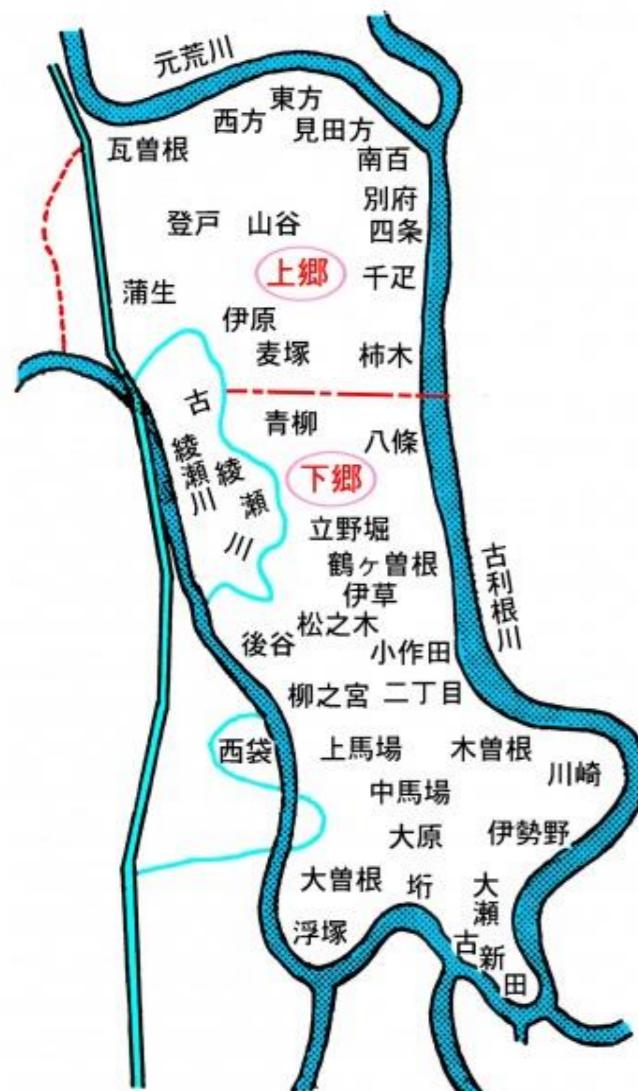
南後谷村

みなみうしろやむら

明治12年(1879)3月28日改称(郡内同一村名区分)

【注】

- 1)天正から慶長年中(1573～1615年)にほぼ市域の近世村落が成立したとされる(『川に抱かれて』213ページ)。
- 2)鶴ヶ曾根村は、近世初頭に分村した村であるとする説が存在する(『八潮市史 民俗編』139ページ)。  
※鶴ヶ曾根は中世地名(河間)。中世の河間についてはこちら
- 3)伊勢野村は、慶長17年(1612)頃の検地を機に大瀬村より分村したとする説がある(『八潮市の文化財』第2号10ページ)。
- 4)古新田は、分村した当時は「大瀬新田」と称したとする説と、分村当時より「古新田」と称した(「大瀬新田」は分村前の呼称)とする説がある。
- 5)堺村は、近世初頭に大瀬村より分村したとする説がある(『広報やしお』第574号)。
- 6)慶長5年(1600)10月10日の上馬場村(「かみはんは」)年貢割付状(『関東郡代伊奈氏文書展』32ページ)や同8年(1603)10月12日の中馬場村(「中はんは」)年貢割付状(中馬場石井明家文書2)が残されている。
- ※「慶長8年・10年中馬場村年貢割付状(伊奈忠次)」はこちら
- 7)西袋村は、古くは「柳之宮村西袋新田」と称し、寛永4年(1627)に柳之宮村より分村したとする説がある(『広報やしお』第526号)が、享和元年(1801)9月初稿・文化11年(1814)8月校定「西袋村百姓家譜序」(『八潮市史 史料編近世II』史料34)には、「西袋村之義ハ(中略)開発も近村より格別遅く、天正・慶長(1573～1615年)之頃、干上場所へ百姓六軒出来、西ノ袋新田と名附、慶長拾七年(1612)ニ御検地入(中略)寛永四(1627年)卯御検地(中略)其砌より名目西袋と相改り」と記載されている。なお、「正保年中(1644～48年)改定図」(『新編武藏風土記稿』)・慶安2年(1649)～3年作成「武藏田園簿」とともに「西袋村」とあり、元禄8年(1695)5月の訴状(柳之宮村との境界争論)、『八潮市史 史料編近世I』史料48)には、「此度西袋新田御検地御入被遊」と記載されている。
- 8)明治7年(1874)12月、埼玉県庁は内務省に合併を申請し、同月28日付で許可されている(『八潮市史 近代史料編I』史料43)。なお、「管轄沿革考」(『埼玉県史料叢書5』)は、合併の日付を翌8年(1875)1月1日としている。
- 9)明治17年(1884)7月14日埼玉県甲第43号にて県内の戸長役場位置・所轄町村の改定が布達され、同日甲第44号にて数町村連合の戸長役場は役場位置の町村名を用い「某連合戸長役場」と称することが布達された(『埼玉県史料叢書20』史料71・72)。



八條領の近世村落図  
出典: 「Kinsei-sonraku.jpg」



図1 合併前の三村  
\*実現しなかった「八汐村」は、三村全体の合併

【参考文献・史料】

主な参考文献・史料

- ・八潮市史編さん物
- ・八潮市立資料館展示パンフレットなど
- ※「八潮市立資料館展示(企画展示室)」はこちら
- ・『広報やしお』連載「郷土の歴史」
- ・埼玉県地方課編著『埼玉県市町村合併史 上・下巻』(埼玉県自治研究会、1960・62年)
- ・『埼玉県市町村誌 第17巻』(埼玉県教育委員会、1979年)
- ・小野文雄監修『日本歴史地名大系 第11巻 埼玉県の地名』(平凡社、1993年)
- ・「角川日本地名大辞典」編纂委員会編『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』(角川書店、1980年)
- ・蘆田伊人編集校訂・根本誠二補訂『大日本地誌大系16 新編武藏風土記稿 第10巻』(雄山閣、1996年)
- ・埼玉県編『武藏国郡村誌 第11巻』(埼玉県立図書館、1954年)
- ・『官報』

冒頭および注に使用している参考文献・史料

- \*上記に含まれる文献は省略。
- ・北島正元校訂『日本史料選書15 武藏田園簿』(近藤出版社、1977年)
  - ・八潮市教育委員会編集発行『八潮市の文化財』第2号(1986年)
  - ・『平成2年度特別展解説 関東郡代伊奈氏文書展』(埼玉県立文書館、1990年)
  - ・慶長8年(1603)中馬場村年貢割付状(八潮市立資料館寄託 中馬場石井明家文書2、資料館常設展示資料)
  - ・埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書5 埼玉県史料五』(埼玉県、2001年)
  - ・埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書20 埼玉県布達集四』(埼玉県、2018年)

※境界線は、典拠とした図の精度に起因する相違もある。



図3 昭和47年(1972)1月15日  
市制施行当時の八潮市

\*町制施行は昭和39年(1964)10月1日

八潮村の成立と境界変更(八潮市域確定)の図  
出典: 「Yashiomuranoseiritsu-kyokaihenko.jpg」



図4 現在の八潮市